

2023年度

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の取組状況について

2024年6月



お客さま本位の業務運営に関する取組方針に係る成果指標（KPI）の公表について

◇当金庫では、お客さまの資産形成に関する業務において、おもてなしの心でお客さまの最善の利益を追求するため、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定し、公表しております。また、その取組状況についても毎年6月に公表し、見直しをすることとしています。

◇このたび、当金庫では「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の定着状況を確認するため、金融庁から発信された「共通KPI」を含め、成果指標（KPI）を、以下の通り設定し公表いたします。（※掲載データ及び掲載資料等の基準日：2024年3月末日時点）

今回公表する成果指標（KPI）	
1	商品ラインナップ（投資信託・保険）
2	投資信託残高・投資信託口座数・NISA口座数・投資信託販売額・投資信託定時定額平均引落金額の推移
3	投資信託の販売額における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売比率
4	投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）の推移、その販売額／構成比
5	一時払保険販売額・一時払保険販売件数の推移
6	庫内研修の実施状況
7	FP資格保有者数
8	運用損益別顧客比率（投資信託）【共通KPI】
9	運用評価別顧客比率（外貨建一時払保険）【共通KPI】
10	投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン【共通KPI】
11	投資信託預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン【共通KPI】
12	銘柄別コスト・リターン（外貨建一時払保険）【共通KPI】

当金庫の取組方針		原則※	取組状況
1	お客さまの最善の利益の追求	2、5、6	P2、P7、P8、P9 P11、P12、P14
2	利益相反の適切な管理	2、3	P8、P13
3	お客さまが負担する手数料の明確化	2、4、5、6、7	P3、P12、P14
4	お客さまに分かりやすい情報提供	2、4、5、6	P2、P3、P4、 P5、P6、P10
5	お客さまにふさわしい商品・サービスの提供	2、4、5、6	P2、P4、 P5、P6、P7
6	お客さまの資産形成にあたって信頼される業務運営および人材育成	2、4、5、6、7	P2、P10

※取組方針の見直しにつきましては、現方針のより一層の深化を図るため、見直しを行っておりません。取組方針の詳細な内容につきましては、下記URLをご参照ください。

https://www.shinkin.co.jp/ookawa/pdf/okyakusama_torikumihoushin.pdf

※原則欄の数字は金融庁が公開した「顧客本位の業務運営に関する原則」における該当番号です。

原則の内容については最終ページに掲載していますのでご参照ください。

なお、当金庫は金融商品の組成に携わっていないため、原則6（注3）に該当する項目はありません。

1. お客様に寄りそった資産形成・運用の支援①

(1) お客様に寄りそった資産形成・運用の支援実現のために

- ◇当金庫では、お客様の豊かな家庭生活実現へのお手伝いのため、お客様とコミュニケーションを重ね、お客様に最も適した商品・サービスの提供に取り組んでおります。
- ◇お客様に最も適した商品・サービスを提供するために、柔軟な発想と豊かな人間性を開発育成し高いモラルと誠意をもって、お客様本位の業務運営に取り組んでおります。

(2) お客様のライフプランやご意向に沿ったご提案

- ◇当金庫では、お取引の都度、お客様からいただいた「お客様アンケート」を活用し、お客様とコミュニケーションを重ね、お客様のお考えを丁寧にお伺いすることなどにより、お客様と資産運用の目的を共有し、お客様のライフプラン等を踏まえた資産形成・運用の支援を行っております。
- ◇情報提供ツール「Wealth Advisor」「マネープランガイド」を用いて、お客様とのコミュニケーションを重ねながら、お客様にとって最適な資産形成・運用の支援を行っております。

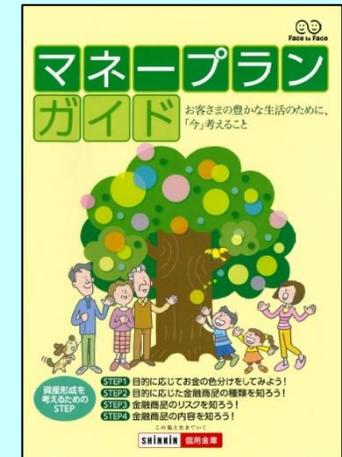
【「Wealth Advisor」「マネープランガイド」を使っでの支援】

「Wealth Advisor」とは？

当金庫全営業店に設置のタブレット内に導入している、ウエルスアドバイザー(株)の複合的な資産運用情報提供ツールです。

「マネープランガイド」とは？

主なライフイベントの平均的な費用やお客様を取り巻く環境、お金の色分け等、お客様が豊かな生活を実現するために必要な情報を提供するツールです。



1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援②

(3) お客さまへ手数料を含む重要な情報の分かりやすい提供

◇お客さまの金融知識、投資経験、属性などをしっかりと聞きし、お客さまの状況に合わせて、お客さまに十分ご理解いただけるような分かりやすい情報提供に取り組んでいます。また、お客さまがご負担する各種手数料について、すべての資産形成商品に関し、お客さまへ丁寧かつ分かりやすい説明に取り組んでいます。

◇投資信託について

- 各商品のパンフレットや目論見書に加え、「投資信託ラインナップ」「Wealth Advisor」等を活用し、商品内容・購入時手数料・信託報酬などの諸費用、内在するリスクについて、お客さまお一人おひとりに合わせた丁寧かつわかりやすい説明を行っております。
- 当金庫では、お客さまが投資信託に親しみやすい環境の整備と購入時手数料明確化の観点から、ノーロード型商品を除き、お申込手数料を窓口販売1.10%（税込）、投信インターネットサービス0.88%（税込）に統一しております。

◇保険商品について

複雑な機能を有する保険商品（外貨建一時払保険等）の販売にあたっては、複数日にわたるなど、より時間をかけて丁寧な説明を行い、また、ご高齢のお客さまに対してはご家族等の同席をお願いするなど、きめ細かな対応に取り組んでいます。

◇アフターフォローについて

お客さまに安心して預かり資産を保有していただけるよう、契約後も半年に1回程度、訪問や電話等でアフターフォローを実施し、運用状況や市場動向についての説明等、情報提供に取り組んでいます。

◇「重要情報シート」導入について

お客さまへ、より分かりやすい情報提供の実践に取り組むため、「重要情報シート」導入についても検討しております。

おかわり信用金庫
投資信託商品
ラインナップのご案内
お申込手数料 20%OFF

投資信託 お申込手数料
2024年1月4日(木)～
窓口 1.10% (税込)
投信インターネットサービス 0.88% (税込)
おトク!! 便利!! 簡単!!
インターネットなら
お申込手数料が
割引されます。
スマホ・パソコンから
どこでもご利用可能です。

これからのお金のごと、一緒に考えませんか?
あなたの資産づくりをおかわり信用金庫が応援します!
おかわり信用金庫で
はじめよう! 投資信託

商品名	月額	平均
投資信託	約37.9万円	234万円
投資信託	約21.9万円	234万円
投資信託	約16.0万円	234万円

商品名	運用方針	リスク	最低投資額	追加投資額	解約手数料	信託報酬	運用期間	その他
つみたて投資枠専用ファンド								
iFree TOPXインデックス	米国市場の主要株種に投資するインデックスファンド	1	1万円	1万円以上	0円	0.15%	なし	
iFree iPIX日経400インデックス	日経平均株価に連動するインデックスファンド	2	1万円	1万円以上	0円	0.14%	なし	
iFree S&P500インデックス	米国市場の主要株種に投資するインデックスファンド	3	1万円	1万円以上	0円	0.18%	なし	手数料なし
iFree NYダウインデックス	米国市場の主要株種に投資するインデックスファンド	4	1万円	1万円以上	0円	0.24%	なし	
iFree 新興国バランス	新興国市場の主要株種に投資するインデックスファンド	5	1万円	1万円以上	0円	0.24%	なし	
成長投資枠対象ファンド								
女性消費株ファンド	女性消費関連株種に投資するファンド	1	1万円	1万円以上	0円	1.55%	なし	
成長株ファンド	成長株種に投資するファンド	2	1万円	1万円以上	0円	1.87%	基金申込日の標準報酬0.3%	1.10%
ESG投資ファンド	ESG関連株種に投資するファンド	3	1万円	1万円以上	0円	1.88%	基金申込日の標準報酬0.3%	
先進国インデックスファンド225	先進国市場の主要株種に投資するインデックスファンド	4	1万円	1万円以上	0円	0.88%	なし	手数料なし
海外新興国日本株ファンド	海外新興国市場の主要株種に投資するファンド	5	1万円	1万円以上	0円	1.55%	基金申込日の標準報酬0.3%	1.10%
One国内株オープン	国内市場の主要株種に投資するオープン型ファンド	6	1万円	1万円以上	0円	1.76%	基金申込日の標準報酬0.3%	
トヨタ自動車・トヨタグループ株式ファンド	トヨタ自動車とトヨタグループの株式に投資するファンド	7	1万円	1万円以上	0円	0.75%	なし	
インデックスファンドFNASDAQ100	NASDAQ100に連動するインデックスファンド	8	1万円	1万円以上	0円	0.48%	なし	0.55%
グローバル・ロボティクス株式ファンド	グローバルロボティクス株式に投資するファンド	9	1万円	1万円以上	0円	1.93%	なし	
グローバル・ヘルスケア&バイオファンド	グローバルヘルスケア&バイオ株式に投資するファンド	10	1万円	1万円以上	0円	2.42%	基金申込日の標準報酬0.3%	1.10%
ダイワインド株ファンド	ダイワグループの株式に投資するファンド	11	1万円	1万円以上	0円	1.84%	なし	

1. お客様に寄りそった資産形成・運用の支援③

(4) お客様の多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

◇お客様の多様なニーズにお応えし、お客様に適切な商品を選択いただけるように、商品ラインナップの充実に取り組んでおります。

◇商品の選定にあたっては経済環境などを踏まえ、幅広い投信会社や保険会社等が取扱う商品の中から、お客様のニーズに沿った商品を取り揃え、既存取扱商品の見直しも行っております。お客様に提供する商品としての合理性を事前に検証するステップを踏み、その商品性やリスクやリターンを検証のうえ取扱いを決定しております。

< 投資信託 >

◇新NISA制度への対応について◇

当金庫では、お客様の多様なニーズにお応えし、「お客様の最善の利益の追求」を実現するため、2024年1月よりスタートした新NISA制度に参入致しました。本制度は、「無期限化・恒久化・つみたて投資枠と成長投資枠の併用可能」をキーワードとして新たな制度に生まれ変わり、お客様の幅広い資産運用ニーズにお応えすることができる制度です。

◇投資信託ラインナップの見直しについて◇

新NISA制度のスタートを踏まえ、当金庫取扱いファンドを活性化させ、お客様の幅広い資産運用ニーズにお応えするため、2024年1月に取扱いファンドの見直しを行いました。詳細は、右記の通りです。

◇新規導入ファンド

NISA対応ファンド					NISA対象外ファンド			
成長投資枠	商品分類	商品数	つみたて投資枠	商品分類	商品数	課税扱いファンド	商品分類	商品数
	国内債券型	0		国内債券型	0		国内債券型	0
	国内株式型	3		国内株式型	2		国内株式型	0
	国内不動産型	0		国内不動産型	0		国内不動産型	0
	海外債券型	0		海外債券型	0		海外債券型	1
	海外株式型	3		海外株式型	2		海外株式型	0
	海外不動産型	0		海外不動産型	0		海外不動産型	0
	バランス型	0		バランス型	1		バランス型	0
	合計	6		合計	5		合計	1

◇新規買付中止ファンド

新規買付中止ファンド	商品分類	商品数
	国内債券型	0
	国内株式型	2
	国内不動産型	1
	海外債券型	4
	海外株式型	3
	海外不動産型	1
	バランス型	1
合計	12	

2024年3月末日時点の投資信託ラインナップにつきましては、5ページに記載しております。

1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援③

(4) お客さまの多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

◇投資信託ラインナップ（2024年3月末日時点）

NISA対応ファンド									
成長投資枠	商品分類	商品数	うち毎月分配型商品	うち毎月分配型商品以外	つみたて投資枠	商品分類	商品数	うち毎月分配型商品	うち毎月分配型商品以外
	国内債券型	0	0	0		国内債券型	0	0	0
	国内株式型	7	0	7		国内株式型	2	0	2
	国内不動産型	0	0	0		国内不動産型	0	0	0
	海外債券型	0	0	0		海外債券型	0	0	0
	海外株式型	12	0	12		海外株式型	2	0	2
	海外不動産型	0	0	0		海外不動産型	0	0	0
	バランス型	2	0	2		バランス型	1	0	1
	合計	21	0	21		合計	5	0	5
	NISA対象外ファンド								
課税扱いファンド	商品分類	商品数	うち毎月分配型商品	うち毎月分配型商品以外	取扱いファンド数合計				30
	国内債券型	0	0	0					
	国内株式型	1	0	1					
	国内不動産型	1	1	0					
	海外債券型	1	0	1					
	海外株式型	0	0	0					
	海外不動産型	1	1	0					
	バランス型	0	0	0					
合計	4	2	2						

取扱いファンドの詳細につきましては、左記URLをご参照ください。 https://www.shinkin.co.jp/ookawa/pdf/toushinfund_2401.pdf

1. お客様に寄りそった資産形成・運用の支援③

(4) お客様の多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

< 保険商品 >

◇保険商品ラインナップの見直しについて◇

2023年4月に市場ニーズを考慮して取扱商品の見直しを行いました。

【新規導入商品】

「ハローキティの医療保険（フコクしんらい生命）」

【新規申込みを停止した商品】

「医療保険EVER Prime（アフラック）」

保険商品ラインナップにつきましては、右記の通りです。

なお、取扱商品の詳細につきましては、下記URLをご参照ください。

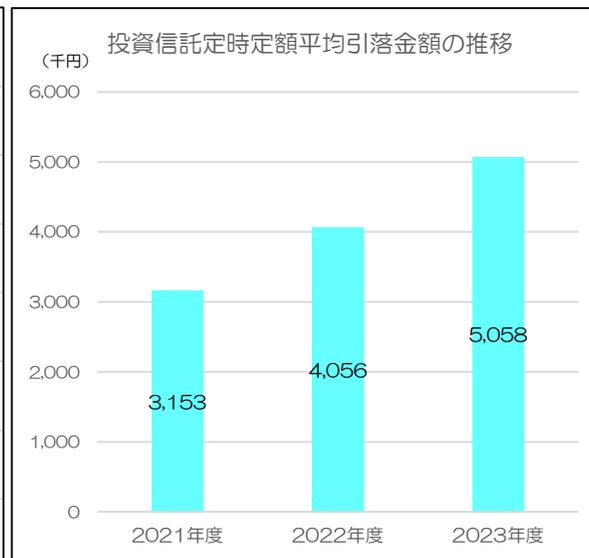
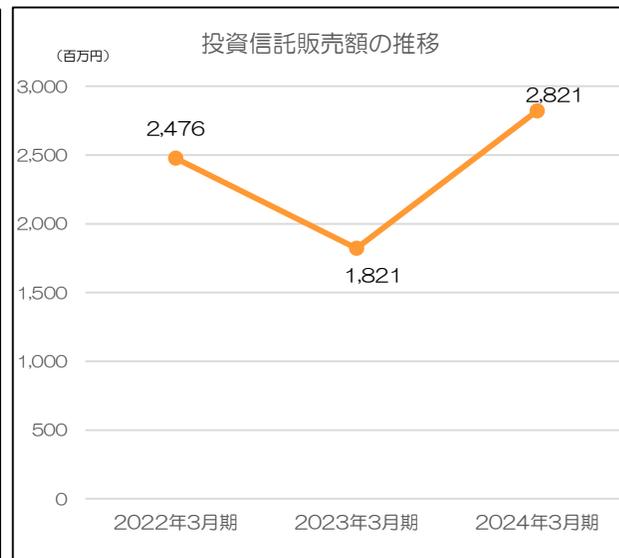
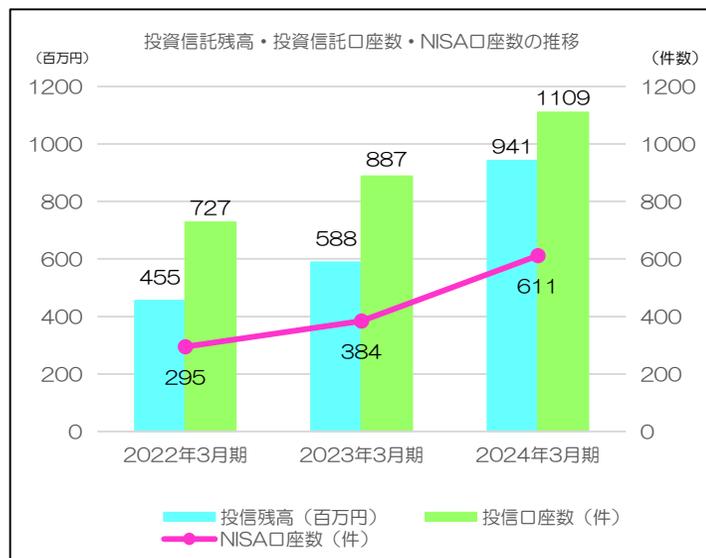
<https://www.shinkin.co.jp/ookawa/loan/hoken.html>

◇保険商品ラインナップ（2024年3月末日時点）

商品分類	商品数	うち円貨建	うち外貨建
個人年金	1	0	1
終身保険	5	2	3
医療保険	5	5	0
がん保険	2	2	0
傷害保険	1	1	0
定期保険	3	3	0
火災保険	3	3	0
債務返済支援保険	1	1	0
事業性保険	4	4	0
合計	25	21	4

2. お客さまニーズに適した商品提案①

(1) 投資信託残高・投資信託口座数・NISA口座数・投資信託販売額・投資信託定時定額平均引落金額の推移



○投資信託口座数およびNISA口座数、投資信託残高、投資信託販売額、投資信託定時定額平均引落金額は資産運用ニーズの高まりを受け増加しております。今後も、お客さまのニーズに適した資産運用に関する情報とサービスの提供に努め、「長期・積立・分散投資」を含め、お客さまの安定的な資産形成・資産運用のための最適な提案を行っております。引き続き、アフターフォローを含め、きめ細かなサービスの提供に努めてまいります。

(2) 投資信託の販売額における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売比率

	2022年3月期 (販売額：2,476百万円)		2023年3月期 (販売額：1,821百万円)		2024年3月期 (販売額：2,821百万円)	
	販売額 (百万円)	構成比 (%)	販売額 (百万円)	構成比 (%)	販売額 (百万円)	構成比 (%)
毎月分配型商品	45	1.82	40	2.20	18	0.64
毎月分配型商品以外	2,431	98.18	1,781	97.80	2,803	99.36

○お客さまの投資目的やリスク許容度、ライフステージや属性等を踏まえ、お客さまのニーズをご確認し、「長期・積立・分散投資」につながるご提案に努めております。

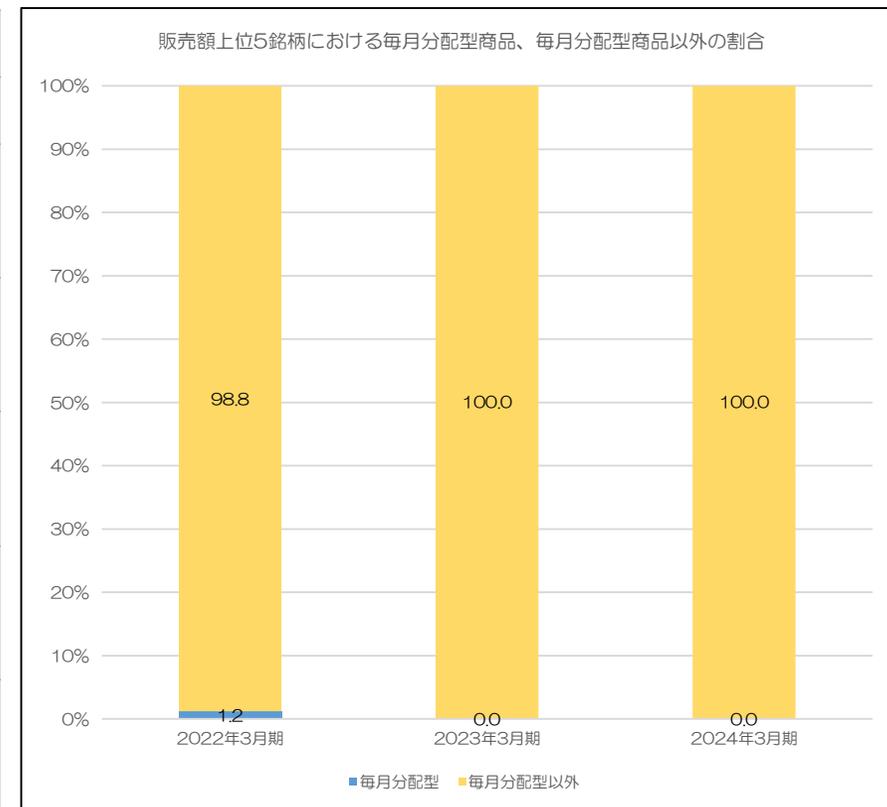
○投資信託販売額における毎月分配型商品の販売比率は3%以下の低水準となっております。分配金の受取りを希望されるお客さまに対しては、分配金支払いの仕組みや元本に対する影響などを十分にご理解いただくよう努めております。

○引き続き「長期・積立・分散投資」に適したファンドの導入と、お客様ニーズに沿ったご提案に努めてまいります。

2. お客さまニーズに適した商品提案②

(3) 投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）の推移、その販売額／構成比

順位	2022年3月期（販売額：2,476百万円）					2023年3月期（販売額：1,821百万円）					2024年3月期（販売額：2,821百万円）				
	商品名	分類	収益分配	販売額 (百万円)	販売比率 (%)	商品名	分類	収益分配	販売額 (百万円)	販売比率 (%)	商品名	分類	収益分配	販売額 (百万円)	販売比率 (%)
1	しんきんイン デックスファ ンド225	国内株式	年1回	2,198	88.77	しんきんイン デックスファ ンド225	国内株式	年1回	1,470	80.72	しんきんイン デックスファ ンド225	国内株式	年1回	2,390	84.72
2	トヨタ自動車 ／トヨタグ ループ株式 ファンド	国内株式	年1回	56	2.26	リバース・ト レンド・オー プン	国内株式	年1回	100	5.49	リバース・ト レンド・オー プン	国内株式	年1回	149	5.28
3	リバース・ト レンド・オー プン	国内株式	年1回	44	1.78	グローバル・ ハイクオリ ティ成長株式 ファンド（為 替ヘッジな し）	海外株式	年1回	52	2.86	グローバル・ ハイクオリ ティ成長株式 ファンド（為 替ヘッジな し）	海外株式	年1回	63	2.23
4	グローバルA Iファンド	海外株式	年1回	32	1.29	トヨタ自動車 ／トヨタグ ループ株式 ファンド	国内株式	年1回	46	2.53	トヨタ自動車 ／トヨタグ ループ株式 ファンド	国内株式	年1回	55	1.95
5	しんきんJ リートオー プン（毎月決算 型）	国内 REIT	年12回	28	0.93	グローバルA Iファンド	海外株式	年1回	27	1.48	グローバルA Iファンド	海外株式	年1回	23	0.82



○お客さまと資産運用の目的を共有し、お客さまのライフステージ等を踏まえ、インデックス型ファンド等を中心に分かりやすい商品のご提案に努めております。

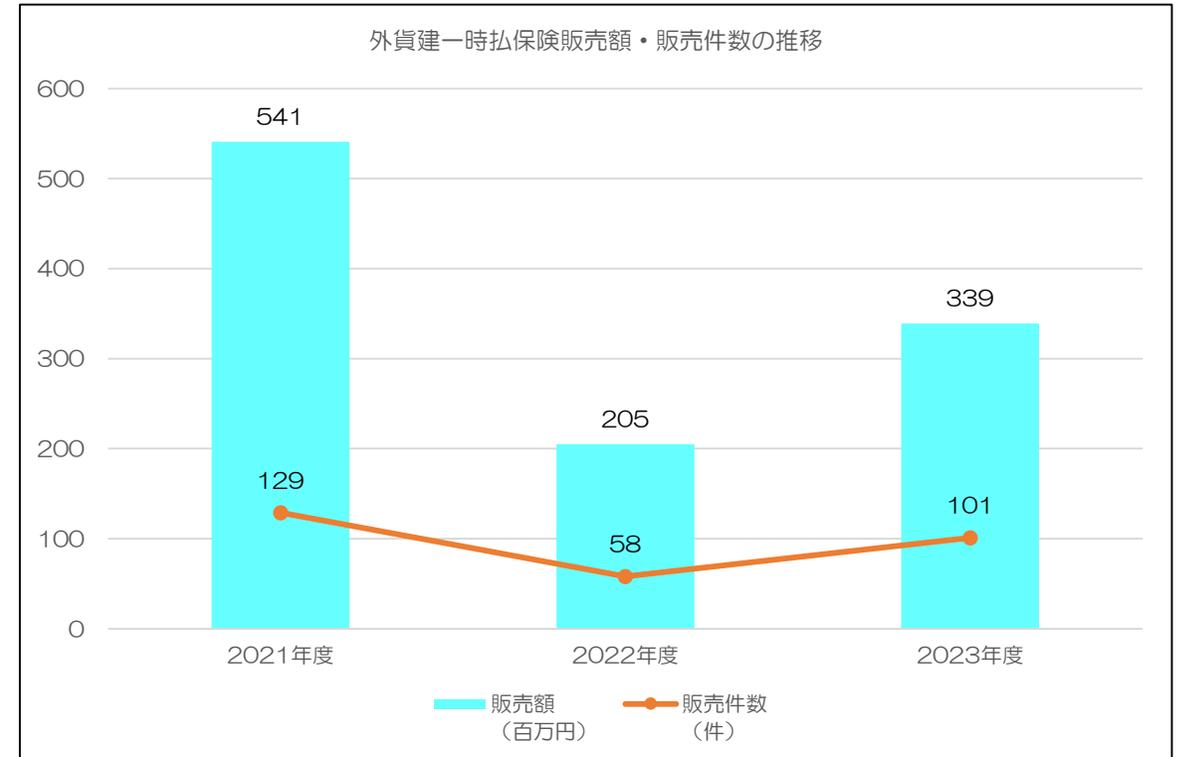
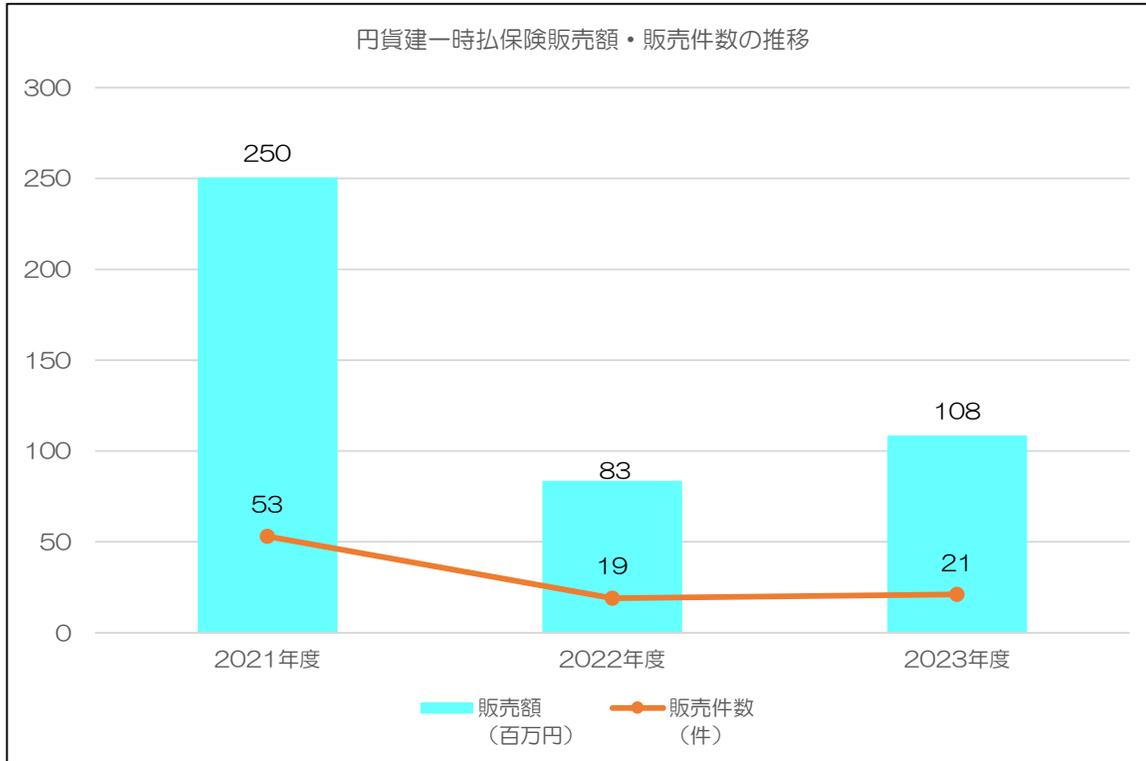
○投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）における直近3年度平均の毎月分配型商品の構成比は0.5%程度の低水準を維持しております。

なお、2024年3月期における投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）に占める毎月分配型商品の構成比は0%でした。

引き続き、分配金支払いの仕組みや元本に対する影響などを十分にご理解いただくよう努めてまいります。

2. お客様ニーズに適した商品提案③

(4) 一時払保険販売額・一時払保険販売件数の推移



○お客様とコミュニケーションを重ね、お客様のご意向を把握し、相続対策を兼ねた長期資産形成商品として一時払保険をご提案しております。

○商品提案に際しては複数日にわたるなど、より時間をかけて丁寧な説明を行い、アフターフォローを含め、きめ細かな対応への取組みを継続しております。

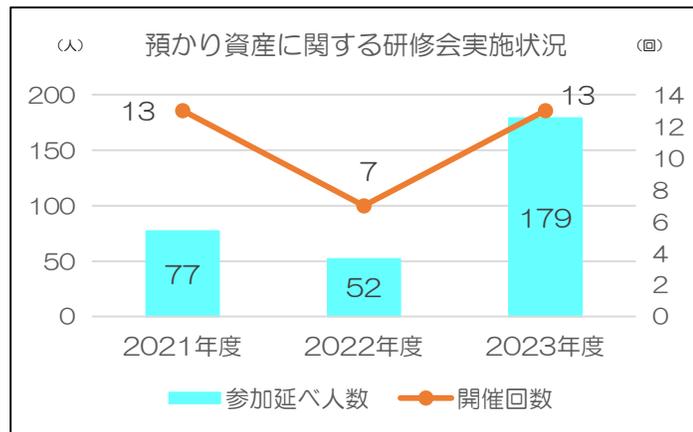
○外貨建保険（変額保険、市場価格調整機能を有する保険商品を含む）につきましては、投資信託等の他の預かり資産商品とあわせてご提案させていただくことが多いことを踏まえ、代理店手数料を開示しております。代理店手数料につきましては、お客様に商品内容等とあわせて商品を選択いただく判断材料の一つとしていただいております。

○2024年度につきましては、相続対策や長期資産形成商品として、お客様のニーズが増大したことにより、販売件数及び販売額は増加しました。

3. お客様本位の業務運営を実践するための態勢

- ◇各種研修会やロールプレイング大会の実施、FP（ファイナンシャルプランナー）といった外部専門資格の資格奨励等を通じ、役職員の質的向上およびスキルの強化を図り、お客様の資産形成に関するコンサルティング能力向上に取り組んでおります。
- ◇預かり資産のご提案や情報提供、フォローアップを専門的に行うマネープランナーを本部に配置しております。営業店とお客様の情報を共有し連携を図り、お客様のご意向に沿った資産形成へのご提案に取り組んでおります。
- ◇お客様本位の業務運営方針に沿った営業活動を促すため、預かり資産販売額や手数料収入に重点を置いた評価はせず、預かり資産残高や口数、アフターフォロー等に重点を置いた業績評価体系を構築しております。

◇預かり資産に関する研修会実施状況



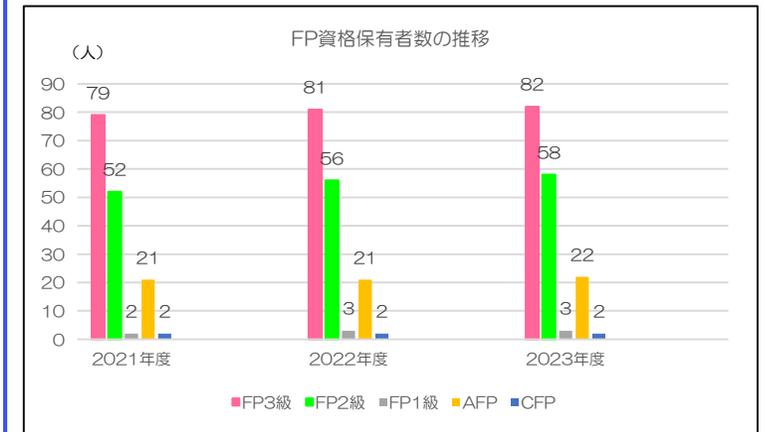
○集合形式での研修会は上記表のとおりです。集合研修の他、ZOOM等を活用し、投信会社や保険会社主催のセミナーへの参加、マネープランナーによる営業店個別勉強会等の実施により、スキルアップに取り組みました。特に、NISA制度に関する研修会は複数回実施し、新制度に関する情報共有を図りました。

◇ロールプレイング大会



○毎年度、預かり資産販売に関するロールプレイング大会を実施し、情報共有とスキルアップを図り、お客様の長期・安定的な資産形成に寄与する提案に活かしております。2023年度につきましては、新NISA制度を踏まえ、投信窓販をテーマとしたロールプレイング大会を実施し、情報共有とスキルアップを図りました。
(2023年度：2023年11月21日・22日実施)

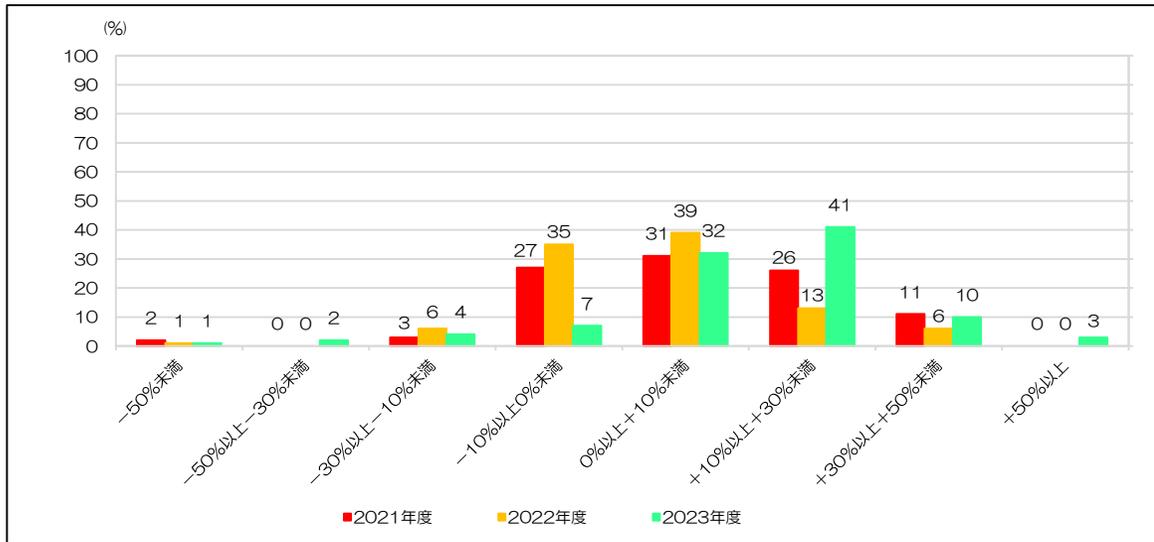
◇FP資格保有者数の推移



○お客様の資産形成に関する専門知識・スキルを有する人材育成の観点から、FP資格取得奨励に取り組んでおります。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI①～

(1) 投資信託の運用損益別顧客比率



<本項目の内容について>

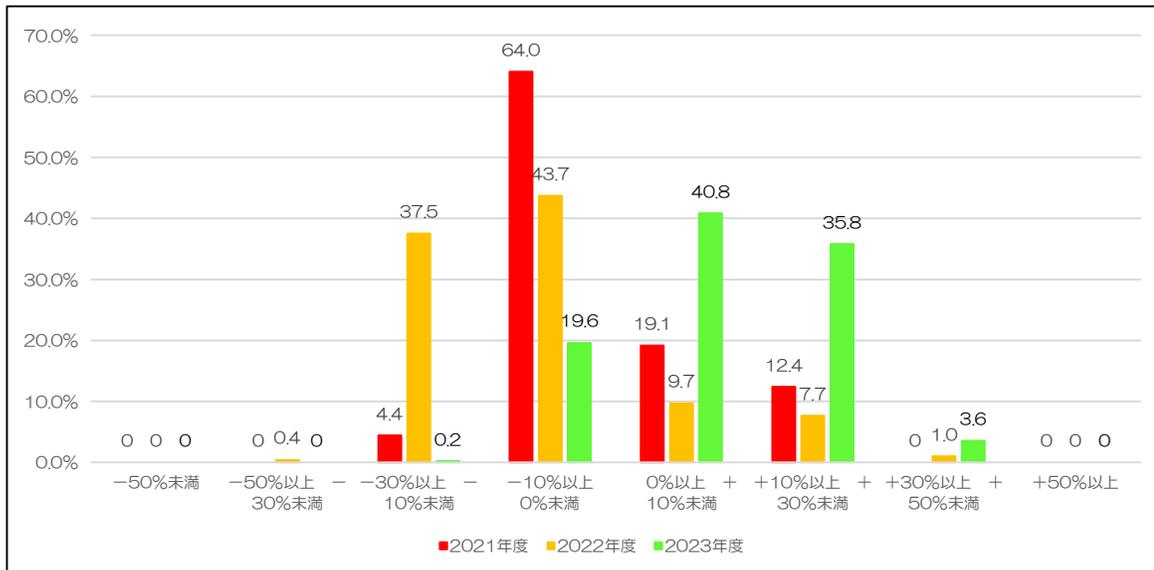
- 投資信託を保有しているお客様について、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し運用損益別にお客様の比率を示した指標です。個々のお客様が保有している投資信託について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。
- 当金庫で投資信託を保有しているお客様の運用損益状況を運用損益率区分ごとに表示しています。

<運用損益率がプラスのお客様比率>

2021年度（2022年3月末時点）約68%、2022年度（2023年3月末時点）約58%、
2023年度（2024年3月末時点）約86%

○引き続き、市場動向を踏まえたアフターフォローを継続してまいります。

(2) 外貨建保険の運用評価別顧客比率



<本項目の内容について>

- 基準日時点で外貨建一時払保険を保有しているお客様について、加入時以降のリターンを算出し、リターン別のお客様の分布を示したものです。対象のお客様全体を100%とし、それぞれの運用評価に該当する顧客数比率を棒グラフ化したものです。

【対象契約数】2021年度：517契約、2022年度：496契約、2023年度：475契約

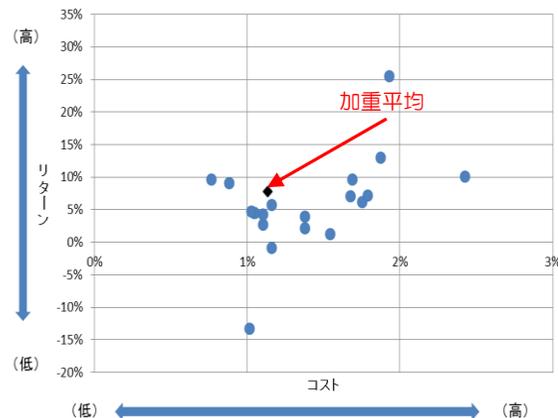
※本項目は、投資信託の「運用損益別顧客比率」に相当します。

○当金庫では、契約後も半年に1回程度、アフターフォローを実施しております。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI②～

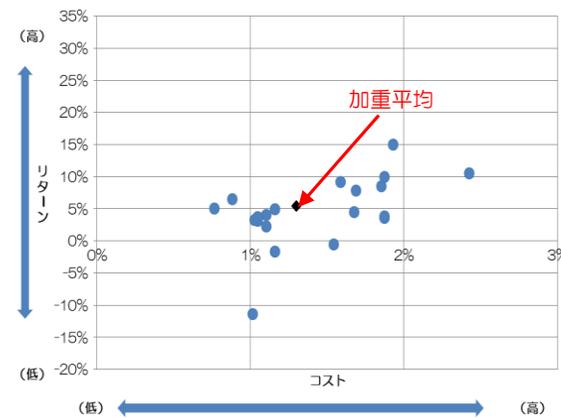
(3) 投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン

【2022年3月末】



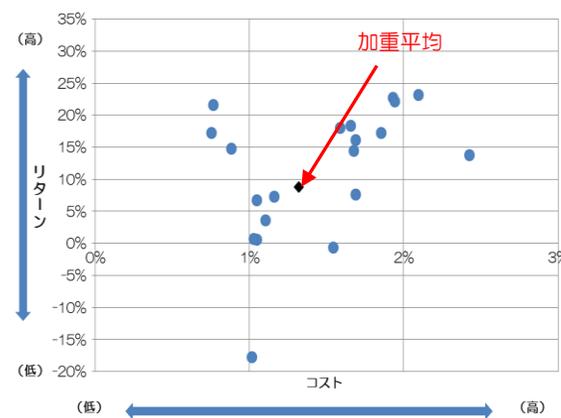
残高加重平均値：コスト1.13%、リターン7.82%

【2023年3月末】



残高加重平均値：コスト1.30%、リターン5.47%

【2024年3月末】



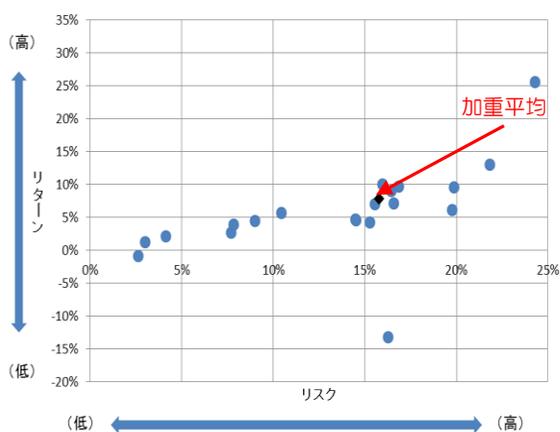
残高加重平均値：コスト1.32%、リターン8.81%

＜本項目の内容について＞

- 設定後5年以上の投資信託の預かり資産残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預かり資産残高加重平均の「コストとリターン」の関係を示した指標です。
- 中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供したかを見ることができます。

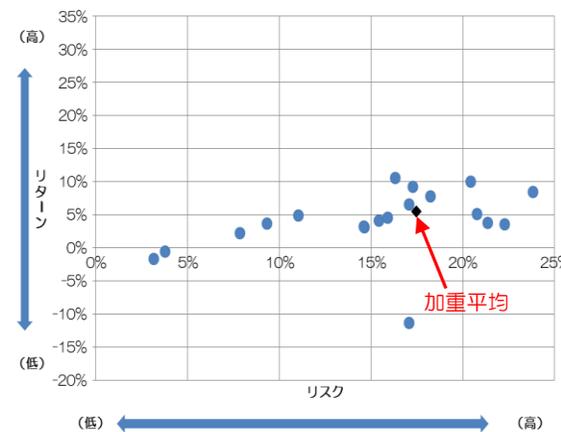
(4) 投資信託預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン

【2022年3月末】



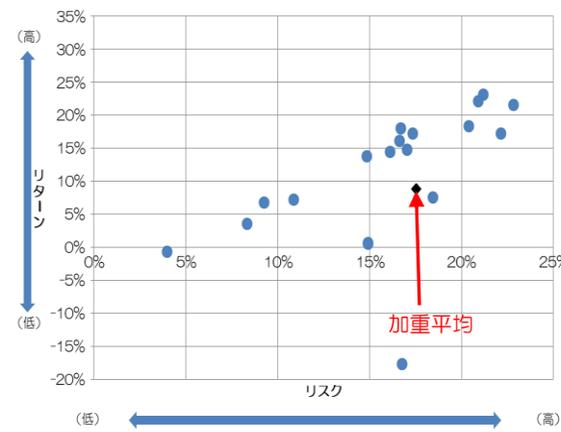
残高加重平均値：リスク15.77%、リターン7.82%

【2023年3月末】



残高加重平均値：リスク17.45%、リターン5.47%

【2024年3月末】



残高加重平均値：リスク17.51%、リターン8.81%

＜本項目の内容について＞

- 設定後5年以上の投資信託の預かり資産残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預かり資産残高加重平均の「リスクとリターン」の関係を示した指標です。
- 中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供したかを見ることができます。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI②～

<参考>当金庫の投資信託の残高上位20銘柄（設定後5年以上）

【2022年3月末】

No.	ファンド名	運用会社名
1	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
2	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
3	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
4	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
5	新成長株ファンド	明治安田アセットマネジメント
6	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント
7	リバース・トレンド・オープン(日本トレンド・セレクト)	日興アセットマネジメント
8	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne
9	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
10	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
11	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
12	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセットマネジメント
14	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
15	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	三菱UFJアセットマネジメント
16	しんきん世界アロケーションファンド	しんきんアセットマネジメント投信
17	三井住友・グローバル・リート・オープン	三井住友DSアセットマネジメント
18	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
19	投資のソムリエ	アセットマネジメントOne
20	しんきんアジアETF株式ファンド	しんきんアセットマネジメント投信

【2023年3月末】

No.	ファンド名	運用会社名
1	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
2	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
3	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
4	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント
5	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
6	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne
7	新成長株ファンド	明治安田アセットマネジメント
8	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne
9	リバース・トレンド・オープン(日本トレンド・セレクト)	日興アセットマネジメント
10	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	アセットマネジメントOne
11	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
12	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセットマネジメント
14	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(限定為替ヘッジ)	アセットマネジメントOne
15	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
16	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
17	ダイワ・インド株ファンド	大和アセットマネジメント
18	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
19	投資のソムリエ	アセットマネジメントOne
20	しんきん世界アロケーションファンド	しんきんアセットマネジメント投信

【2024年3月末】

No.	ファンド名	運用会社名
1	リバース・トレンド・オープン(日本トレンド・セレクト)	日興アセットマネジメント
2	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
3	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
4	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne
5	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
6	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
7	ダイワ・インド株ファンド	大和アセットマネジメント
8	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント
9	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne
10	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	アセットマネジメントOne
11	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
12	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセットマネジメント
13	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
14	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
15	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
16	GS 日本フォーカス・グロース 年2回決算コース	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
17	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
18	投資のソムリエ	アセットマネジメントOne
19	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	三井住友DSアセットマネジメント
20	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI②～

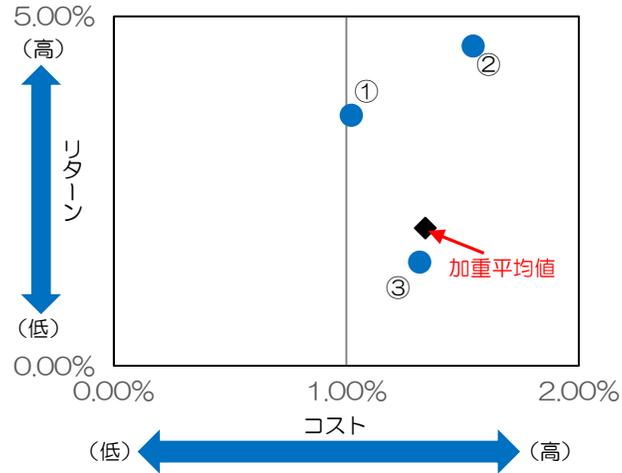
(4) 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン

<本項目の内容について>

○当金庫が保険募集を行った契約で保険契約開始から60ヶ月以上経過した契約について、平均コストと平均リターンの関係を示した指標です。

※本項目につきましては、データ基準日「2023年3月末時点」分より公表しております。

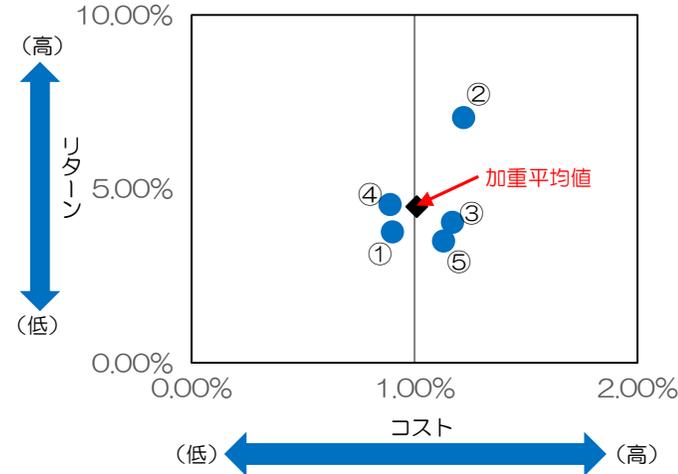
【2023年3月末】



加重平均値	コスト	リターン
	1.34%	1.97%

銘柄名	コスト	リターン
①ふるはーとJロードグローバル (住友生命)	1.02%	3.59%
②エブリバディプラス米ドル建 (明治安田生命)	1.54%	4.58%
③エブリバディプラス豪ドル建 (明治安田生命)	1.31%	1.48%

【2024年3月末】



※表内「④」
エブリバディプラス米ドル建がターゲット到達したものの。

※表内「⑤」
エブリバディプラス豪ドル建がターゲット到達したものの。

加重平均値	コスト	リターン
	1.01%	4.48%

銘柄名	コスト	リターン
①ふるはーとJロードグローバル (住友生命)	0.90%	3.76%
②エブリバディプラス米ドル建 (明治安田生命)	1.22%	7.05%
③エブリバディプラス豪ドル建 (明治安田生命)	1.17%	4.04%
④円貨エブリバディプラス米 (明治安田生命)	0.89%	4.55%
⑤円貨エブリバディプラス豪 (明治安田生命)	1.13%	3.50%

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI③～

<参考>データ算出基準等について

<「投資信託」共通KPIについて>

1. 『投資信託の運用損益別顧客比率』データ算出基準

基準日：2022年3月末時点、2023年3月末時点、2024年3月末時点

運用損益：基準日時点の評価金額+累計受取分配金額（税引後）+累計売却金額-累計買付金額（販売手数料（税込）を含む）

運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

2. 『投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン』データ算出基準

基準日：2022年3月末時点、2023年3月末時点、2024年3月末時点

対象ファンド：投資信託の預かり資産残高上位20銘柄（設定後5年以上）

コスト：（販売時手数料÷5）+信託報酬（年率）

販売時手数料は当金庫において最低販売額での料率（税込）

信託報酬（年率）は、目論見書記載の実質的な信託報酬率の上限（その他の費用・手数料は含まず）

リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫取扱いの投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI③～

<参考>データ算出基準等について

<「外貨建保険」共通KPIについて>

1. 『運用評価別顧客比率』データ算出基準

基準日：2022年3月末時点、2023年3月末時点、2024年3月末時点

対象顧客：基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客様。

対象契約：当金庫が保険募集を行った契約。

※基準日時点で解約済の契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。

対象商品：基準日時点で対象顧客が保有している外貨建一時払保険。

※外貨建医療保険、外貨建平準払保険は除外しています。

※介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組込まれている商品は除外しています。

※当金庫対象商品は、以下の通りです。

- ①『ふるはーとJロードグローバル（住友生命）』
- ②『ふるはーとJロードグローバルⅡ（住友生命）』
- ③『エブリバディプラス（明治安田生命）』
- ④『えらべる外貨建一時払終身（明治安田生命）』

運用評価計算：「 $\{（基準日時点の解約返戻金 + 基準日時点の既支払金） - 契約時点の一時払保険料\} \div （契約時点の一時払保険料）$ 」

※解約返戻金、既支払金、一時払保険料は円換算。

※解約返戻金については時価評価を行うため、金利変動による市場価格調整（MVA）を反映。

※既支払金を外貨で支払った場合に使用する為替レートは各社の定める手法を適用。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI③～

<参考>データ算出基準等について

<「外貨建保険」共通KPIについて>

2. 『銘柄別コスト・リターン』データ算出基準

基準日：2023年3月末時点、2024年3月末時点

対象契約：当金庫が保険募集を行った契約で、保険契約開始から60ヶ月以上経過した契約。

※基準日時点で解約済の契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。

対象銘柄：外貨建一時払保険のうち、保険契約開始から60ヶ月以上経過した契約が存在する銘柄。

※対象となる契約にかかる「基準日時点の解約返戻金＋基準日時点の既支払金の合計額」で最大上位20銘柄とします。

※外貨建医療保険、外貨建平準払保険は除外しています。

※介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品は除外しています。

※当金庫対象銘柄は、以下の通りです。

①『ふるはーとJロードグローバル（住友生命）』

②『エブリバディプラス（明治安田生命）』

コスト：個別銘柄のコストは各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間（月単位）で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出を行い、各契約のコスト率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均しています。契約期間の途中で継続手数料率の取扱い手数料支払いが完了している場合、支払いがあった年度分の継続手数料率を累積した上で、経過期間に基づき年率換算を行っています。

リターン：各契約のリターン率について、「 $\{（基準日時点の解約返戻金＋基準日時点の既支払金）－ 契約時点の一時払保険料\} \div（契約時点の一時払保険料）$ 」を年率に換算し、各契約のリターン率を各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均しています（いずれも円換算）。

※解約返戻金については時価評価を行うため、金利変動による市場価格調整（MVA）を反映。

加重平均値：コスト、リターンともに、個別銘柄の対象となる契約にかかる基準日時点の「解約返戻金＋基準日時点の既支払金」の合計額で加重平均を行っています。

<参考>「顧客本位の業務運営に関する原則」（金融庁公表）について

【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等】

原則1	金融事業者は、顧客本位の業務運営を実現するための明確な方針を策定・公表するとともに、当該方針に係る取組状況を定期的に公表すべきである。当該方針は、より良い業務運営を実現するため、定期的に見直されるべきである。
-----	--

【顧客の最善の利益の追求】

原則2	金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を凶るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。
-----	--

【利益相反の適切な管理】

原則3	金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。
-----	--

【手数料等の明確化】

原則4	金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。
-----	--

【重要な情報の分かりやすい提供】

原則5	金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。
-----	--

【顧客にふさわしいサービスの提供】

原則6	金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。
-----	---

【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】

原則7	金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。
-----	---

※各原則の注記は記載を省略しています。